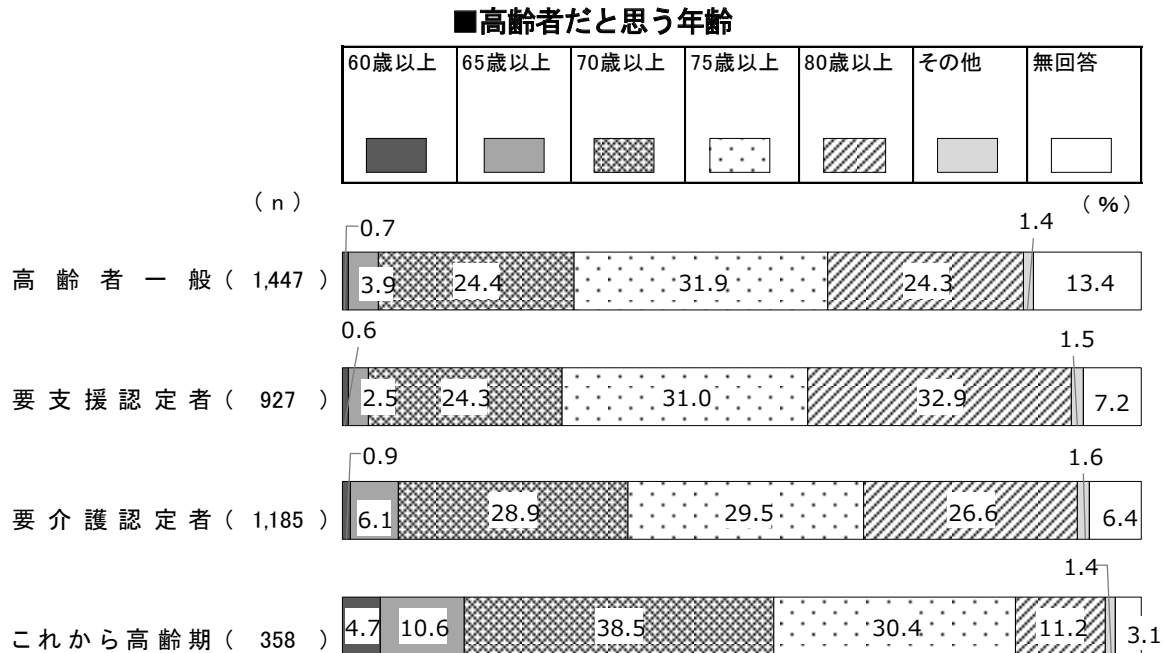


6 社会参加

(1) 高齢者だと思う年齢

- “75 歳以上”（「75 歳以上」と「80 歳以上」の合計）は、高齢者一般で5割半ば、要支援認定者で6割超、要介護認定者で5割半ば、これから高齢期で4割超となっている。
- これから高齢期では、「70 歳以上」が 38.5%となっている。



【経年比較】

- 平成 25 年度、平成 28 年度の調査結果と比較すると、令和元年度の調査結果は「75 歳以上」が高齢者一般では5割半ばで、ポイントが高くなっている。

■高齢者だと思う年齢

<高齢者一般：経年比較>

	n	60歳以上	65歳以上	70歳以上	75歳以上	その他	無回答
令和元年度	1,447	0.7	3.9	24.4	56.3	1.4	13.4
平成28年度	1,494	0.3	3.9	30.6	52.2	1.6	11.3
平成25年度	1,583	0.5	7.6	42.1	41.2	6.1	2.5

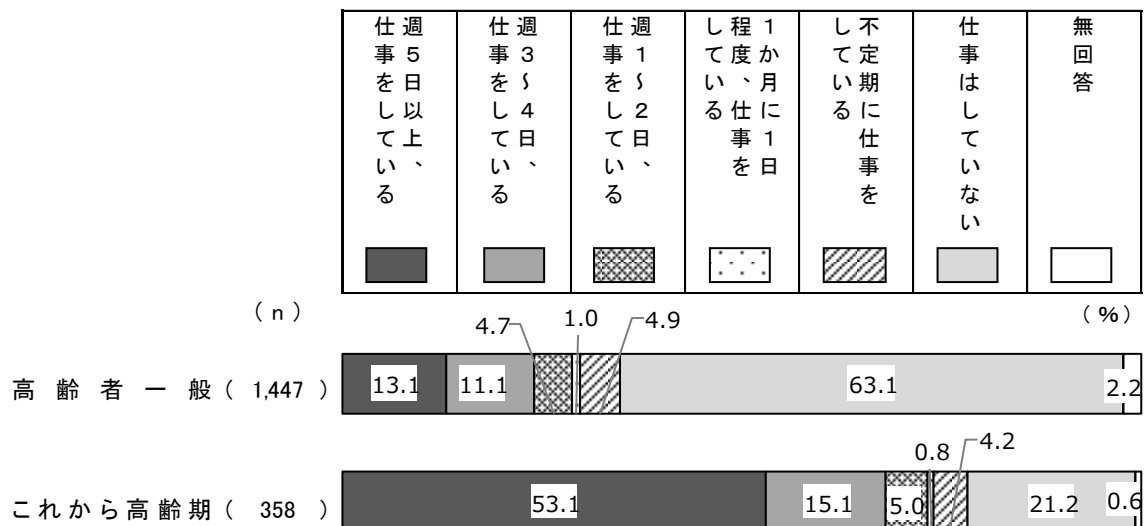
※ 平成 25 年度の調査は「80 歳以上」を聞いていないため、「75 歳以上」として再集計を行った

(2) 就労状況

① 就労状況

○ “仕事をしている”（「仕事はしていない」を除く）人は、高齢者一般で34.7%、これから高齢期で78.2%となっている。

■就労状況



【高齢者一般】

○年代別にみると、『前期高齢者』は“仕事をしている”人は約5割で、『後期高齢者』と比べて高い。「週5日以上、仕事をしている」人は、『前期高齢者』では約2割となっている。

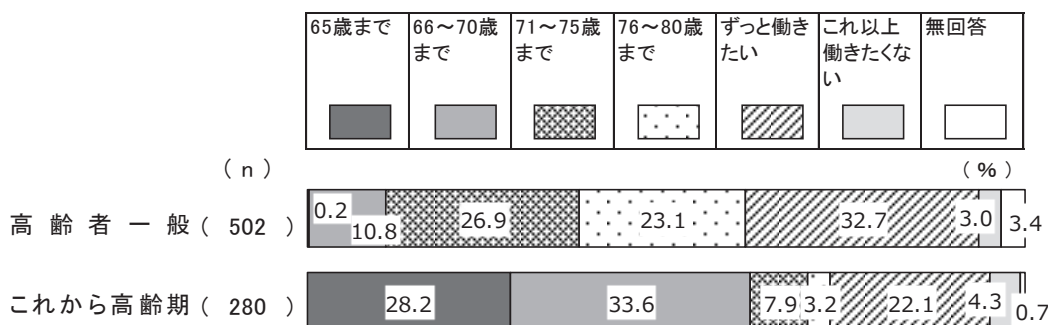
■就労状況<高齢者一般：年代別>

	n	仕週 事5 を日 し以 て上 い、 る	仕週 事3 を日 し4 て日 い、 る	仕週 事1 を日 し2 て日 い、 る	し程 度1 か 月 に 仕 事 を 日	し不 定 期 に 仕 事 を	仕 事 は し て い な い	無 回 答
高齢者一般	1,447	13.1	11.1	4.7	1.0	4.9	63.1	2.2
前期高齢者(65-74歳)	583	19.9	16.0	7.0	1.2	6.0	49.1	0.9
後期高齢者(75歳以上)	786	7.5	7.4	2.9	0.9	3.8	74.3	3.2

② 働き続けたい年齢

- “仕事をしている” 人の働き続けたい年齢は、高齢者一般では「ずっと働きたい」が 32.7%、「71～75歳まで」が 26.9%、「76～80歳まで」が 23.1%となっている。
- これから高齢期では、「66～70歳まで」が 33.6%、「65歳まで」が 28.2%となっている。

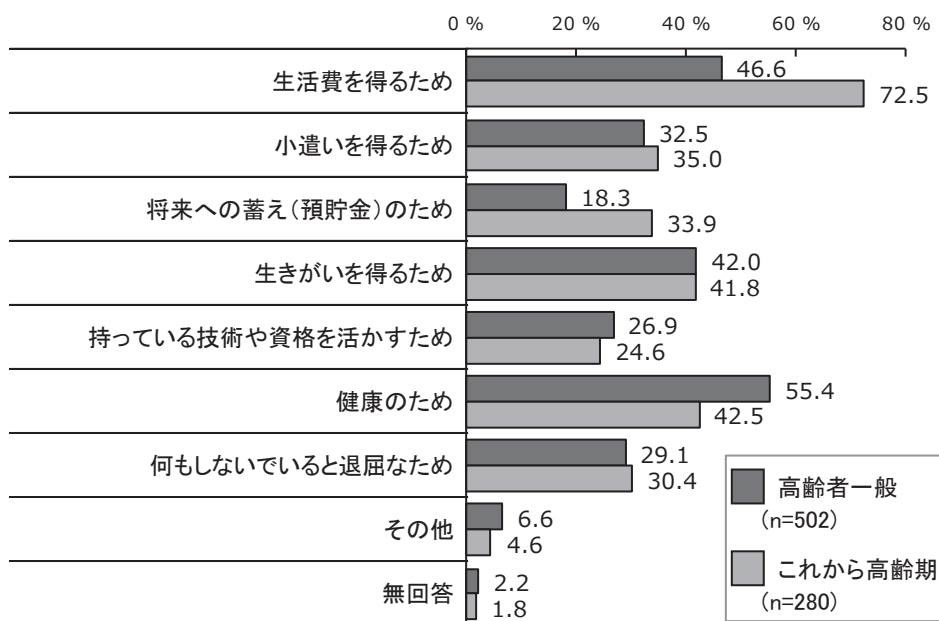
■ 働き続けたい年齢



③ 働く理由

- “仕事をしている” 人の働く理由は、高齢者一般では「健康のため」(55.4%)、「生活費を得るため」(46.6%)、「生きがいを得るため」(42.0%)が上位に挙げられている。
- これから高齢期では、「生活費を得るため」(72.5%)、「健康のため」(42.5%)、「生きがいを得るため」(41.8%)が上位に挙げられている。

■ 働く理由 (複数回答)



【経年比較】

○平成 25 年度、平成 28 年度の調査結果と比較すると、令和元年度の調査結果は平成 28 年度に引き続き「健康のため」が5割超と最も高くなっている。また、調査を重ねる度に「小遣いを得るため」が高くなっている。

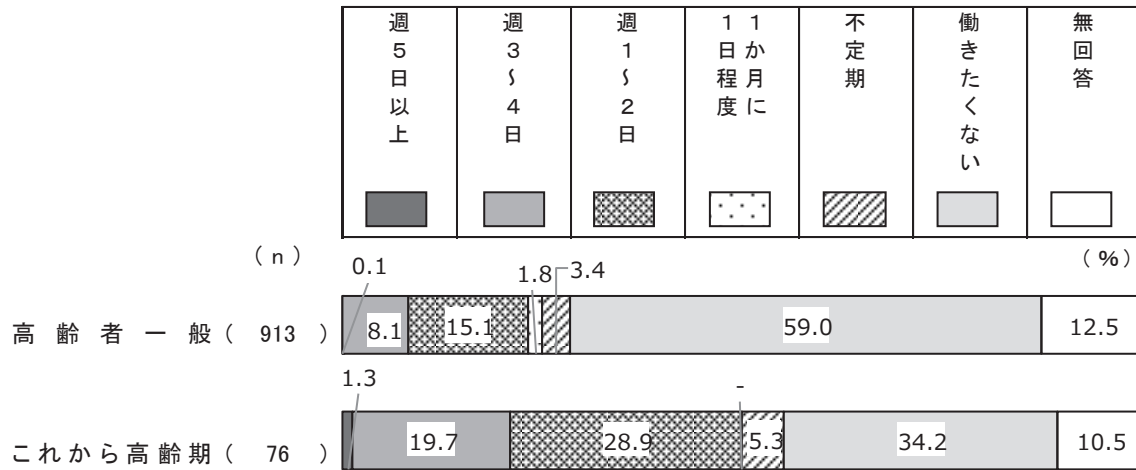
■働く理由（複数回答）＜高齢者一般：経年比較＞

	n	健康のため	生活費を得るため	生きがいを得るため	小遣いを得るため	何もしないでいると退屈するため	活かすための技術や資格を	将来への蓄え（預貯金）のため	その他	無回答
令和元年度	502	55.4	46.6	42.0	32.5	29.1	26.9	18.3	6.6	2.2
平成28年度	491	53.0	48.9	43.2	26.7	34.2	24.4	15.7	6.5	2.6
平成25年度	486	43.0	47.1	39.9	20.6	17.7	24.5	16.5	4.5	6.4

④ 希望する就労の頻度

○仕事はしていないと回答した人の働きたい頻度は、高齢者一般では、「週1～2日」が15.1%、「週3～4日」が8.1%となっている。また、「働きたくない」が59.0%となっている。
 ○これから高齢期では、「週1～2日」が28.9%、「週3～4日」が19.7%となっている。また、「働きたくない」が34.2%となっている。

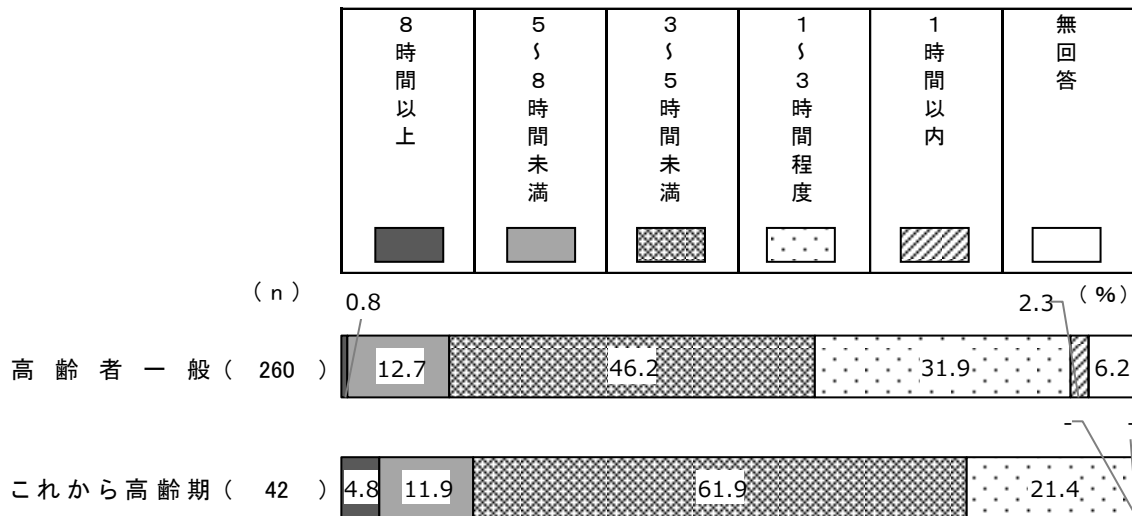
■希望する就労の頻度



⑤ 希望する就労時間

○仕事は現在していないが就労意向はあると回答した人の希望する就労時間は、高齢者一般では「3～5時間未満」が46.2%で最も高く、次いで「1～3時間程度」が31.9%となっている。

■希望する就労時間

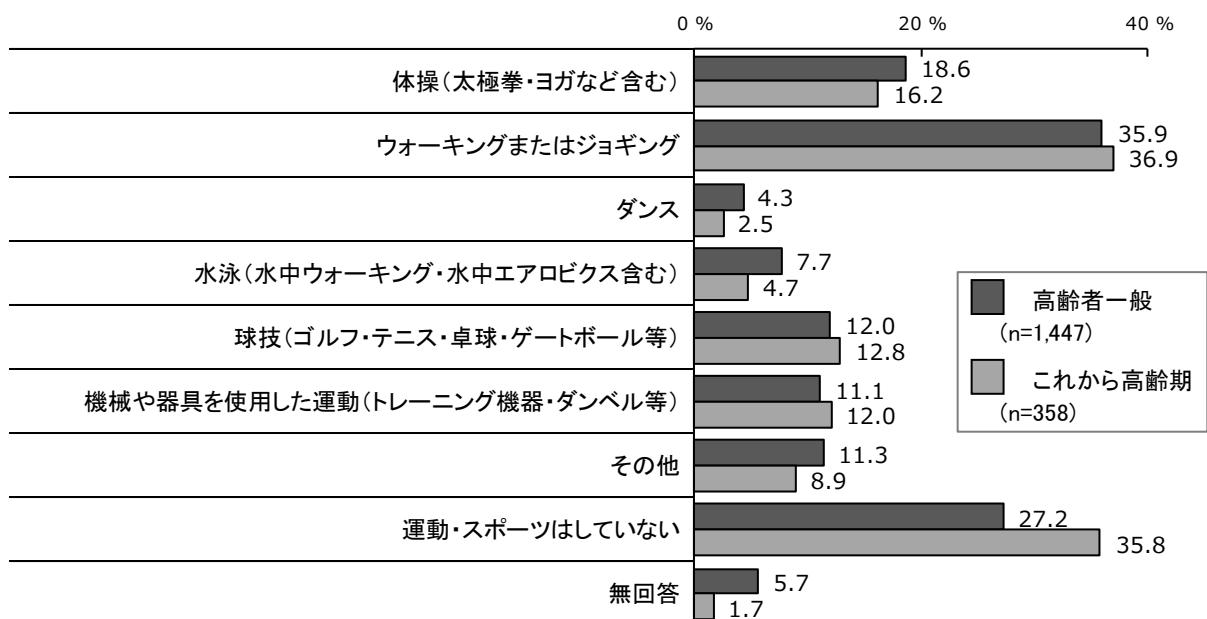


(3) 運動やスポーツの取組状況

① 運動やスポーツの取組状況

○「運動・スポーツはしていない」は高齢者一般で27.2%、これから高齢期で35.8%となっている。
 ○何らかの運動・スポーツをしていると回答した人の取り組んでいる運動やスポーツは、いずれの調査でも「ウォーキングまたはジョギング」（高齢者一般で35.9%、これから高齢期で36.9%）が最も高く、次いで「体操（太極拳・ヨガなど含む）」（それぞれ18.6%、16.2%）となっている。

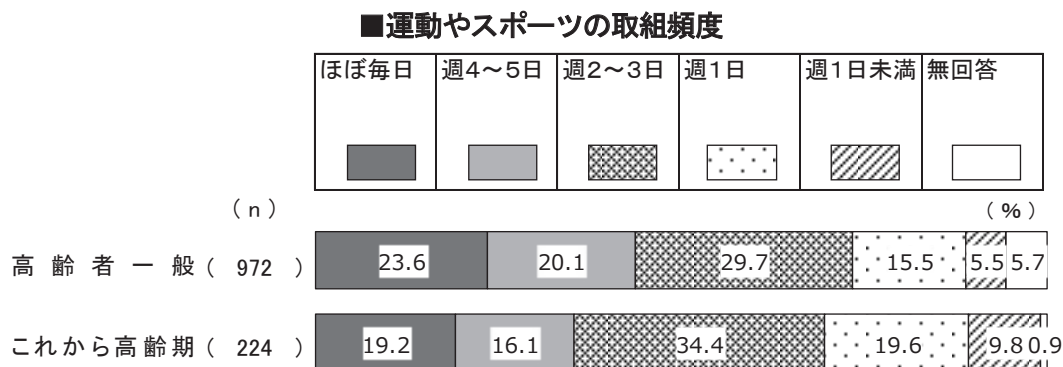
■運動やスポーツの取組状況（複数回答）



② 運動やスポーツの取組頻度

○何らかの運動・スポーツをしていると回答した人の取組頻度は、高齢者一般では、「週2～3日」が最も高く29.7%、「ほぼ毎日」が23.6%、「週4～5日」が20.1%と続いている。

○これから高齢期では、「週2～3日」が最も高く34.4%、「週1日」が19.6%、「ほぼ毎日」が19.2%と続いている。

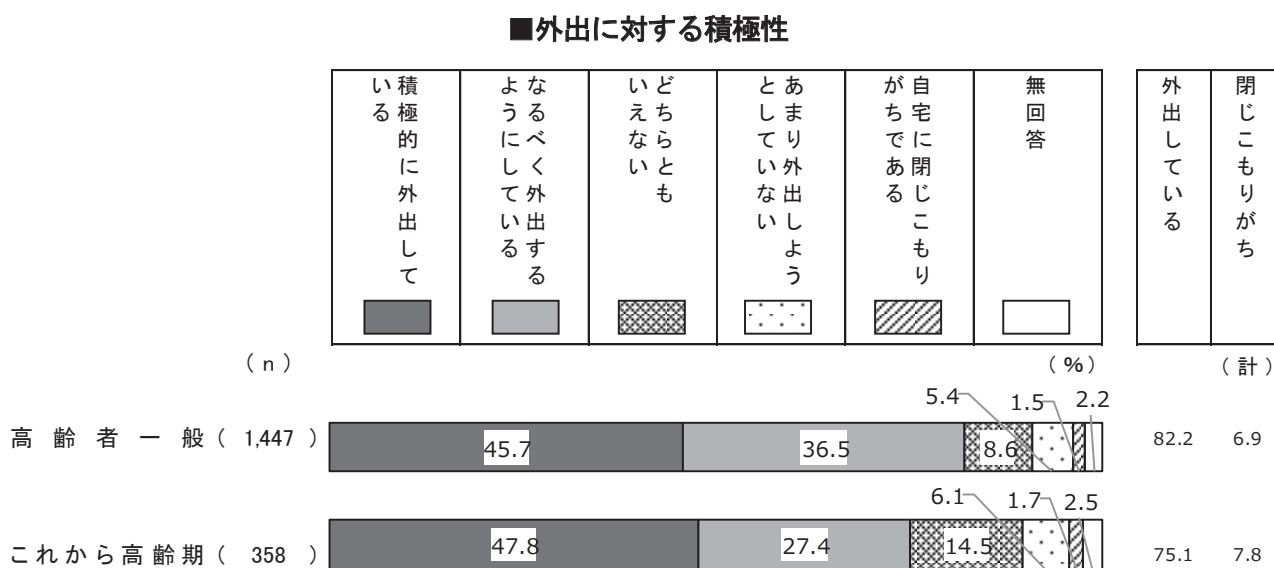


(4) 外出状況

① 外出に対する積極性

○いずれの調査でも「積極的に外出している」が最も高く、高齢者一般で45.7%、これから高齢期で47.8%となっている。

○“閉じこもりがち”（「あまり外出しようとしていない」と「自宅に閉じこもりがちである」の合計）は、高齢者一般で6.9%、これから高齢期で7.8%となっている。



※ “外出している”は、「積極的に外出している」と「なるべく外出するようにしている」の合計

※ “閉じこもりがち”は、「あまり外出しようとしていない」と「自宅に閉じこもりがちである」の合計

【高齢者一般】

○情報機器の利用別にみると、各情報機器を利用している人の方が“外出している”割合が高い（ただし、タブレット型端末はサンプル数が少ないため参考値）。

■外出に対する積極性<高齢者一般：パソコン利用別>

	n	（%）						（計）	
		積極的に外出している	なるべくよく外出する	どちらともいえない	あまり外出しない	がちである	自宅に閉じこもり	無回答	外出している
高齢者一般	1,447	45.7	36.5	8.6	5.4	1.5	2.2	82.2	6.9
パソコンを使う	432	53.5	32.2	8.8	4.4	0.7	0.5	85.6	5.1
パソコンを使わない	695	42.3	37.8	9.5	6.2	2.0	2.2	80.1	8.2

■外出に対する積極性<高齢者一般：スマートフォン利用別>

	n	（%）						（計）	
		積極的に外出している	なるべくよく外出する	どちらともいえない	あまり外出しない	がちである	自宅に閉じこもり	無回答	外出している
高齢者一般	1,447	45.7	36.5	8.6	5.4	1.5	2.2	82.2	6.9
スマートフォンを使う	561	54.4	31.9	9.1	3.2	0.5	0.9	86.3	3.7
スマートフォンを使わない	575	38.6	40.2	9.4	7.5	2.4	1.9	78.8	9.9

■外出に対する積極性<高齢者一般：携帯電話利用別>

	n	（%）						（計）	
		積極的に外出している	なるべくよく外出する	どちらともいえない	あまり外出しない	がちである	自宅に閉じこもり	無回答	外出している
高齢者一般	1,447	45.7	36.5	8.6	5.4	1.5	2.2	82.2	6.9
携帯電話を使う	664	51.5	34.9	7.4	4.4	0.6	1.2	86.4	5.0
携帯電話を使わない	442	38.9	36.7	11.8	7.7	3.2	1.8	75.6	10.9

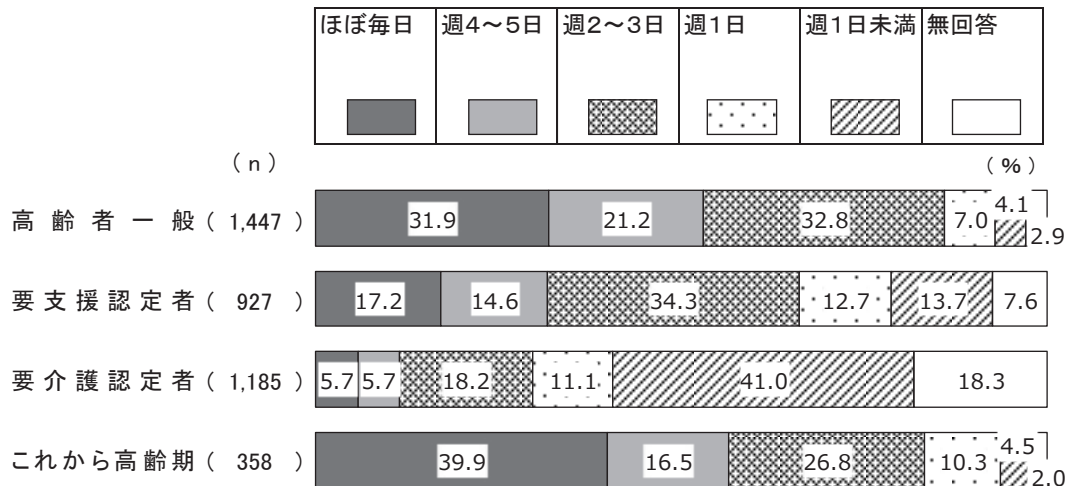
■外出に対する積極性<高齢者一般：タブレット型端末利用別>

	n	（%）						（計）	
		積極的に外出している	なるべくよく外出する	どちらともいえない	あまり外出しない	がちである	自宅に閉じこもり	無回答	外出している
高齢者一般	1,447	45.7	36.5	8.6	5.4	1.5	2.2	82.2	6.9
タブレット型端末を使う	166	53.0	31.9	10.8	3.6	0.6	-	84.9	4.2
タブレット型端末を使わない	874	44.3	36.8	9.4	6.1	1.8	1.6	81.1	7.9

② 買物で外出する頻度

- “週1日以上外出している”人は、高齢者一般で93.0%、要支援認定者で78.7%、要介護認定者で40.7%、これから高齢期で93.6%となっている。
- 要介護認定者では「週1日未満」が4割超で、他の調査と比べて高い（高齢者一般は4.1%、要支援認定者は13.7%、これから高齢期は4.5%）。

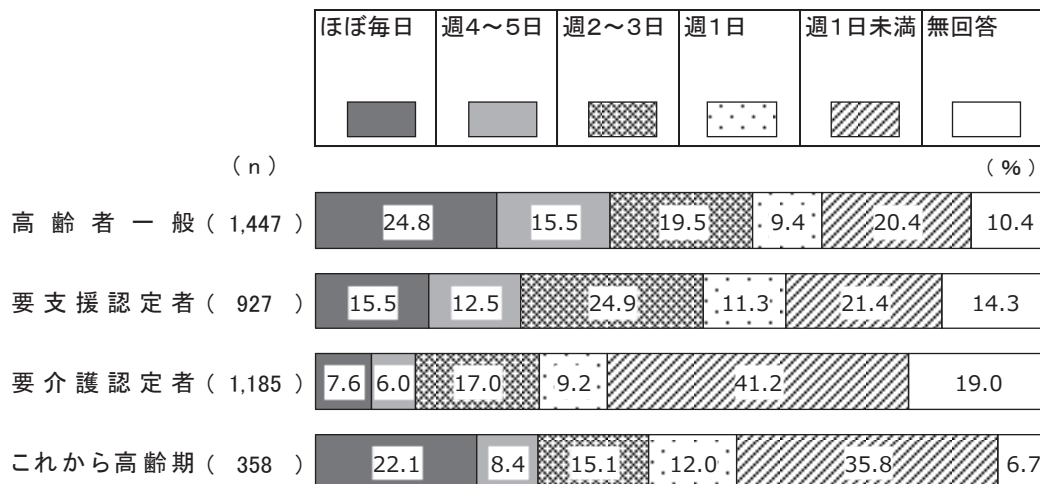
■買物で外出する頻度



③ 散歩で外出する頻度

- “週1日以上外出している”人は、高齢者一般で69.2%、要支援認定者で64.3%、要介護認定者で39.8%、これから高齢期で57.5%となっている。
- 「週1日未満」は、高齢者一般で20.4%、要支援認定者で21.4%、要介護認定者で41.2%、これから高齢期で35.8%となっている。

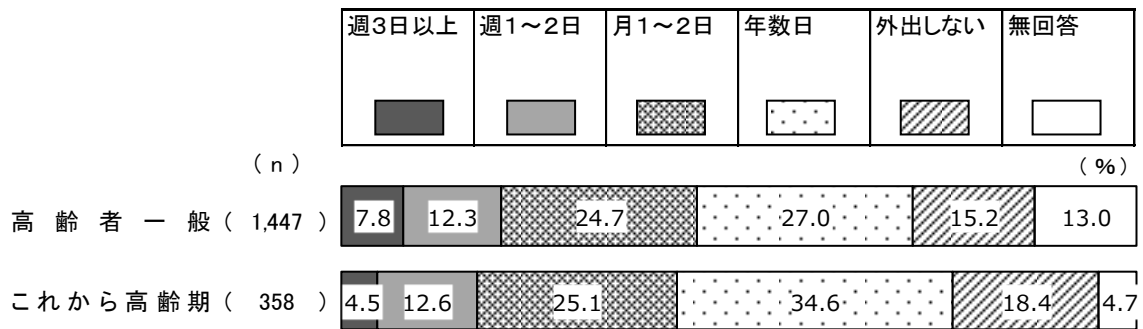
■散歩で外出する頻度



④ 家族・親せきや友人・知人の家を訪れる頻度

- “週1日以上訪れている”人は、高齢者一般で約2割、これから高齢期で2割弱となっている。
- “週1日未満”は、高齢者一般で6割半ば、これから高齢期で8割弱となっている。

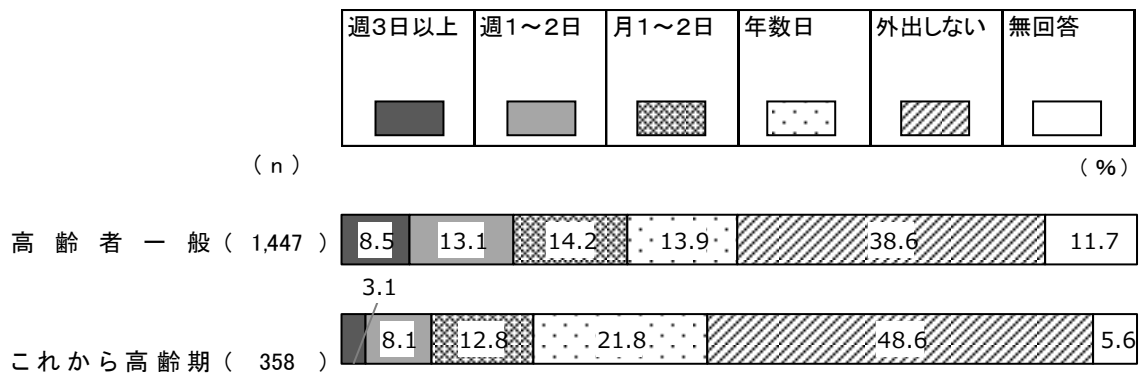
■家族・親せきや友人・知人の家を訪れる頻度



⑤ 図書館、体育館、プールなどの区立施設を訪れる頻度

- “週1日以上訪れている”人は、高齢者一般で21.6%、これから高齢期で11.2%となっている。

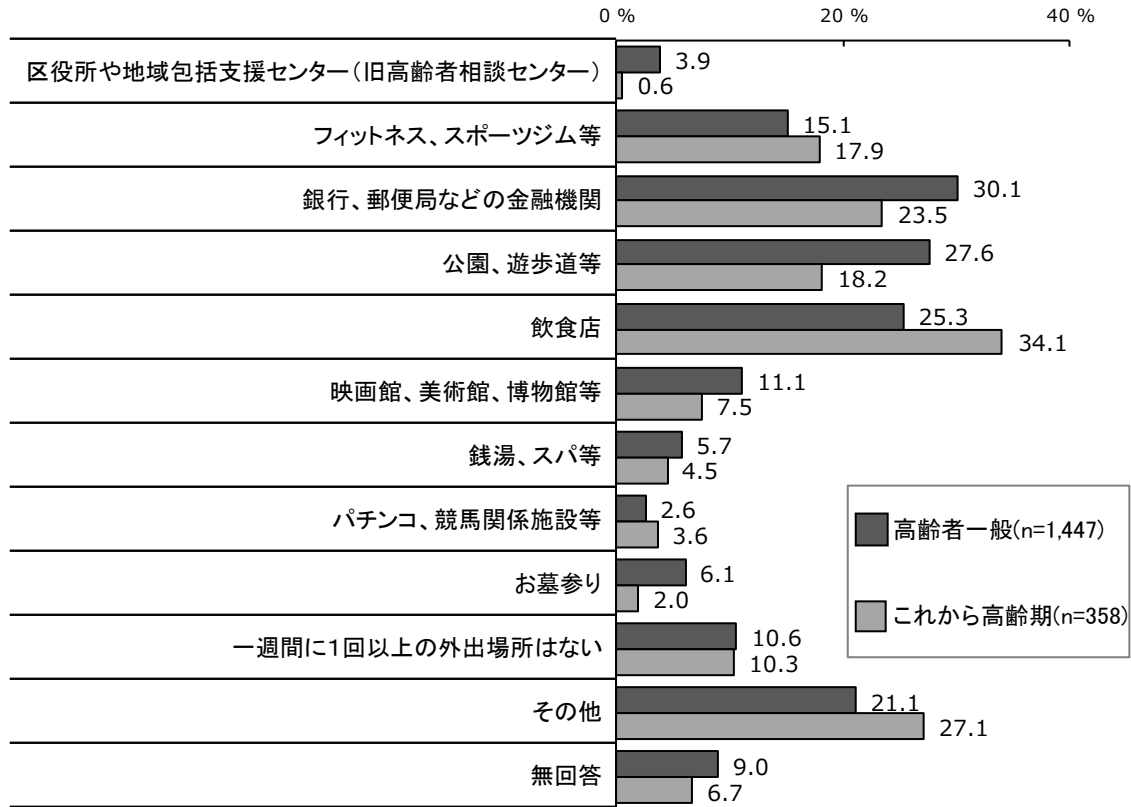
■図書館、体育館、プールなどの区立施設を訪れる頻度



⑥ 一週間に1回以上外出する場所

- 高齢者一般では、「銀行、郵便局などの金融機関」(30.1%)、「公園、遊歩道等」(27.6%)、「飲食店」(25.3%)が上位に挙がっている。「一週間に1回以上の外出場所はない」は約1割となっている。
- これから高齢期では、「飲食店」が34.1%で最も高く、「銀行、郵便局などの金融機関」(23.5%)、「公園、遊歩道等」(18.2%)、「フィットネス、スポーツジム等」(17.9%)と続いている。「一週間に1回以上の外出場所はない」は約1割となっている。

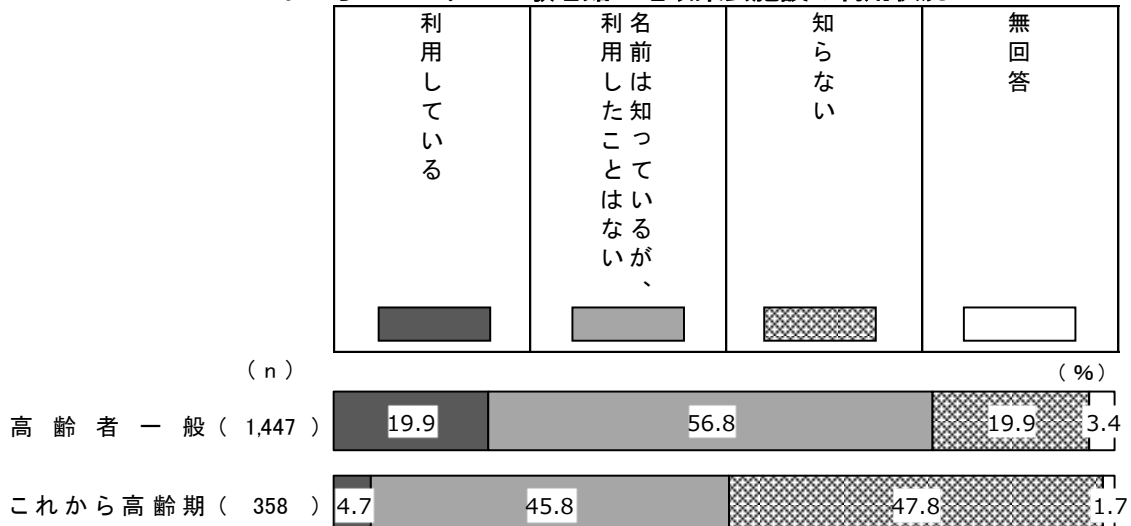
■一週間に1回以上外出する場所（複数回答）



⑦ はつらつセンター・敬老館・地域集会施設の利用状況

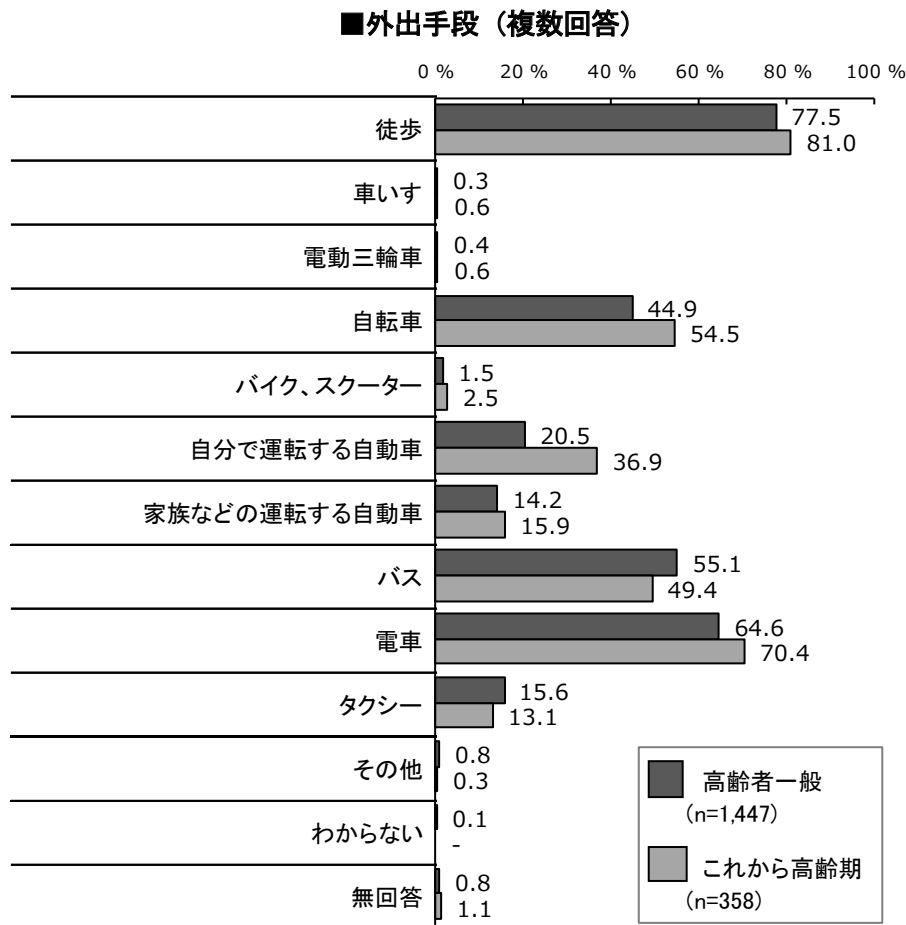
- 高齢者一般では、「利用している」が19.9%、「名前は知っているが、利用したことはない」が56.8%、「知らない」が19.9%となっている。
- これから高齢期では、「利用している」が4.7%、「名前は知っているが、利用したことはない」が45.8%、「知らない」が47.8%となっている。

■はつらつセンター・敬老館・地域集会施設の利用状況



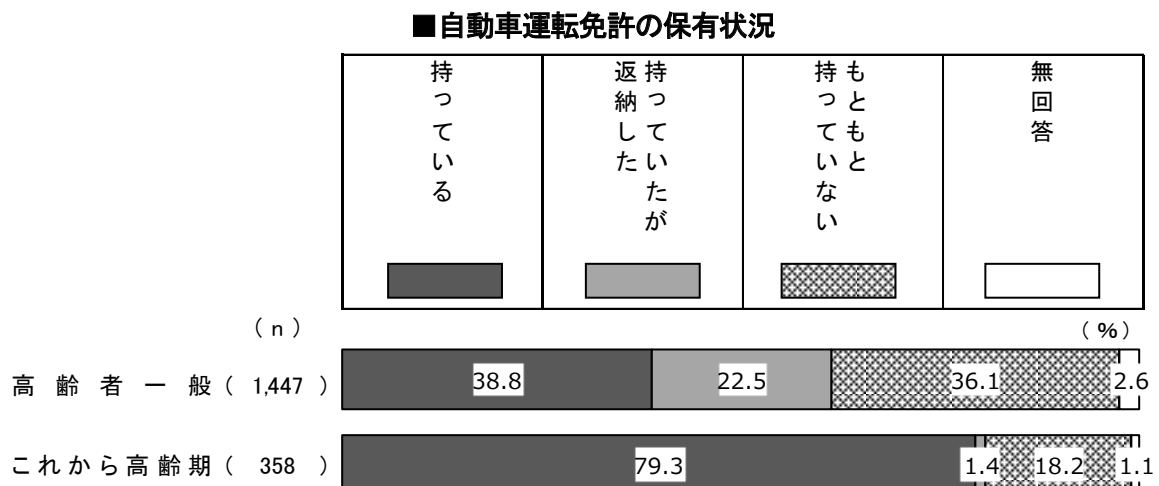
⑧ 外出手段

- 高齢者一般では、「徒歩」が77.5%で最も高く、「電車」(64.6%)、「バス」(55.1%)、「自転車」(44.9%)と続いている。
- これから高齢期では、「徒歩」(81.0%)が最も高く、「電車」(70.4%)、「自転車」(54.5%)と続いている。



⑨ 自動車運転免許の保有状況

- 自動車運転免許を「持っている」人は、高齢者一般で38.8%、これから高齢期で79.3%となっている。
- 自動車運転免許を「持っていたが返納した」人は、高齢者一般で22.5%、これから高齢期で1.4%となっている。



【高齢者一般】

○性・年代別にみると、自動車運転免許を「持っている」人は『男性・前期高齢者』で8割超、『男性・後期高齢者』で4割半ばとなっている。

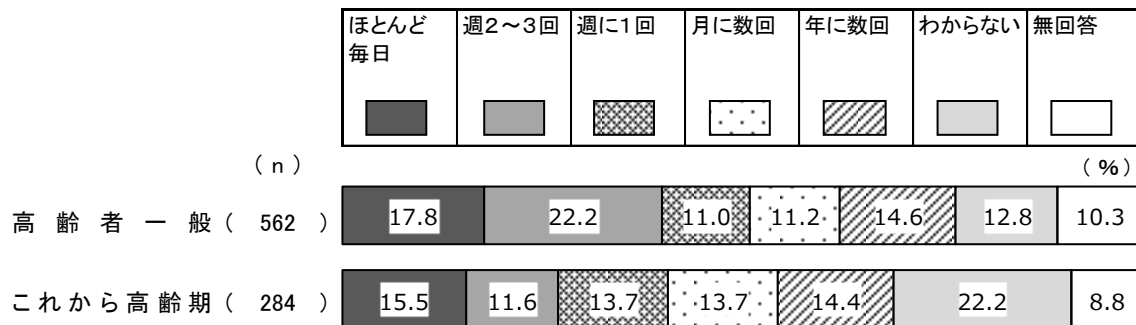
■自動車運転免許の保有状況<高齢者一般：性・年代別>

		(%)			
	n	持っている	返納していたが	持ってもいない	無回答
高齢者一般	1,447	38.8	22.5	36.1	2.6
男性・前期高齢者	260	83.8	3.5	11.5	1.2
男性・後期高齢者	312	45.5	41.0	12.8	0.6
女性・前期高齢者	322	42.9	17.1	37.9	2.2
女性・後期高齢者	473	6.8	24.5	64.3	4.4

⑩ 運転頻度

○自動車運転免許を「持っている」人の運転頻度は、高齢者一般では、「ほとんど毎日」が17.8%、「週2～3回」が22.2%、「週に1回」が11.0%で、“週に1回以上”が半数以上となっている。
○これから高齢期では、「ほとんど毎日」が15.5%、「週2～3回」が11.6%、「週に1回」が13.7%で、“週に1回以上”が約4割となっている。

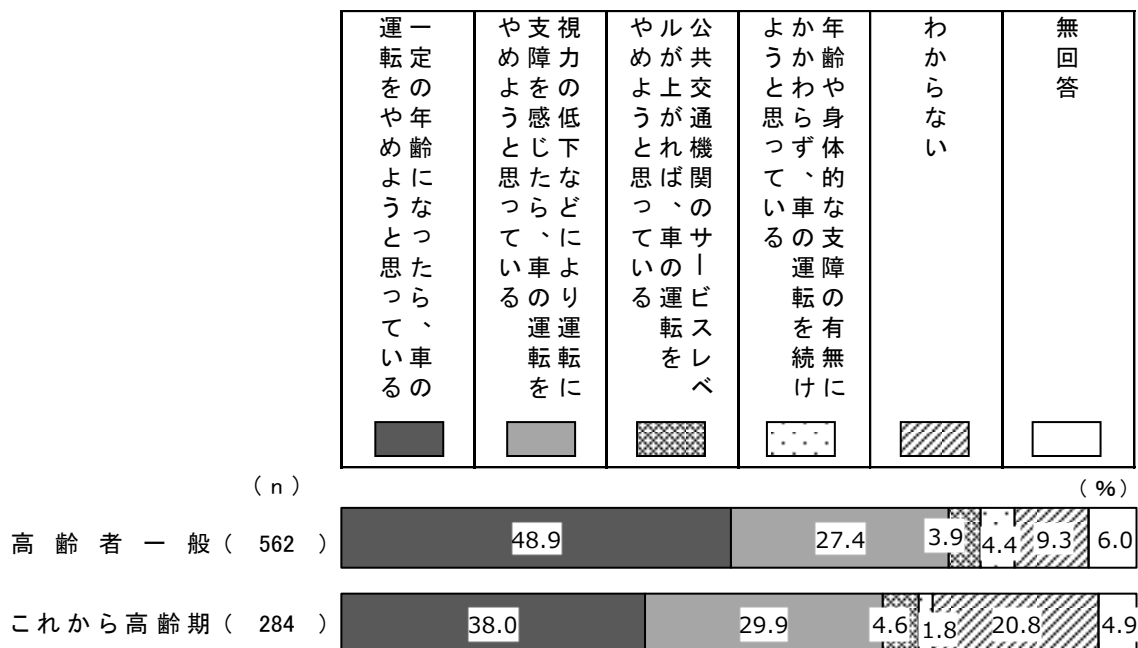
■運転頻度



⑪ 今後の自動車の運転意向

- 自動車運転免許を「持っている」人の今後の自動車の運転意向は、高齢者一般では「一定の年齢になったら、車の運転をやめようと思っている」が48.9%、「視力の低下などにより運転に支障を感じたら、車の運転をやめようと思っている」が27.4%、「公共交通機関のサービスレベルが上がれば、車の運転をやめようと思っている」が3.9%で、何らかのタイミングで運転をやめようと思っている人が約8割となっている。
- これから高齢期では、「一定の年齢になったら、車の運転をやめようと思っている」が38.0%、「視力の低下などにより運転に支障を感じたら、車の運転をやめようと思っている」が29.9%、「公共交通機関のサービスレベルが上がれば、車の運転をやめようと思っている」が4.6%で、何らかのタイミングで運転をやめようと思っている人が7割超となっている。

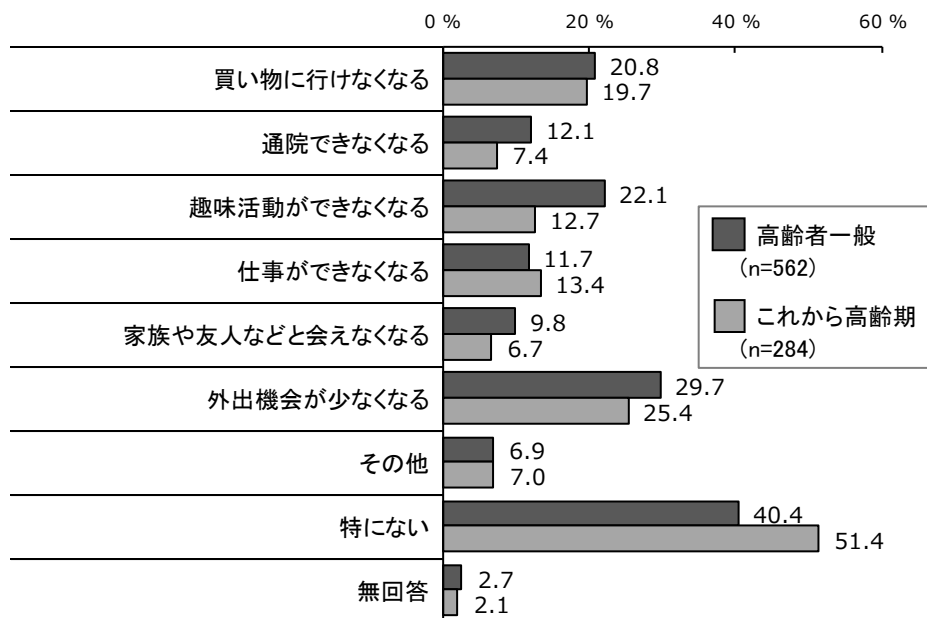
■今後の自動車の運転意向



⑫ 免許返納時に心配なこと

○自動車運転免許を「持っている」人の免許返納時に心配なことを聞いたところ、「特にない」が高齢者一般で約4割、これから高齢期で5割超となっている。心配なこととしては、いずれの調査でも「外出機会が少なくなる」が上位に挙がっている。

■免許返納時に心配なこと（複数回答）

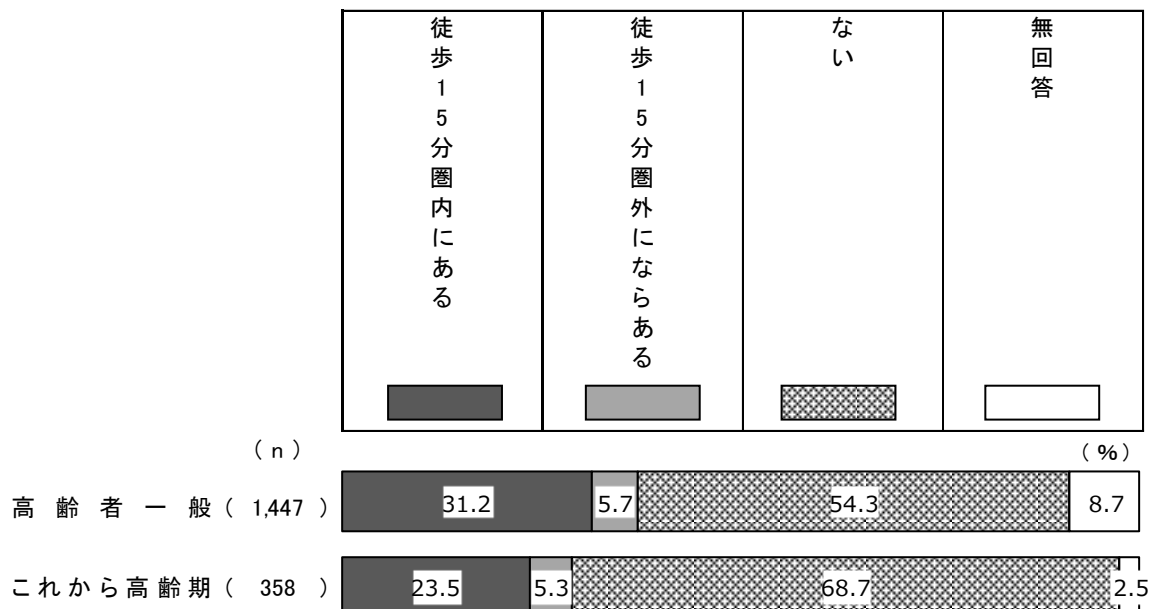


⑬ 日中、徒歩圏内で気軽に立ち寄れる場所

○高齢者一般では、「徒歩15分圏内にある」が31.2%、「ない」が54.3%となっている。

○これから高齢期では、「徒歩15分圏内にある」が23.5%、「ない」が68.7%となっている。

■日中、徒歩圏内で気軽に立ち寄れる場所



⑭ 外出をためらってしまうような問題点

- 高齢者一般、これから高齢期では「特に問題点はない」が最も高く、それぞれ55.9%、59.5%となっている。問題点として、「お金がないこと」が高くなっている。
- 要支援認定者では、「以前よりも歩くことが難しくなってきたこと（青信号の間に横断歩道を渡りきれない等）」が38.9%で最も高く、「ベンチや椅子など休める場所が少ないこと」（27.1%）、「電車やバスに乗ることが難しくなってきたこと」（24.6%）、「道路に階段や段差、傾斜があったり、歩道が狭いこと」（23.5%）、「けがや病気のこと」（21.4%）と続いている。
- 要介護認定者では、「以前よりも歩くことが難しくなってきたこと（青信号の間に横断歩道を渡りきれない等）」が45.0%で最も高く、「電車やバスに乗ることが難しくなってきたこと」（34.0%）、「道路に階段や段差、傾斜があったり、歩道が狭いこと」（26.8%）、「外出する気力が起きないこと」（23.0%）、「ベンチや椅子など休める場所が少ないこと」（22.6%）、「けがや病気のこと」（21.7%）と続いている。

■外出をためらってしまうような問題点（複数回答）

